

平成28年度 学校法人三幸学園 福岡ビューティーアート専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 高岡 利和

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 松岡 龍

1. 学校の教育目標

三幸学園は、昭和60年の開校以来約30年にわたり、『技能と心の調和』を教育理念に掲げ、教育を展開してきた。ここでは、社会への有益な職業人を数多く輩出することを目標に、“有益な職業人とは、専門的知識・専門的技術を十分持ちながら、常に変遷する社会に対し柔軟に対応するため日々研究・研鑽を続け、職業人としての使命感をしっかりと確立した人物”と定義し、心豊かな人間性を育む教育に注力している。

この基本理念は、教職員に対しては、教職員手帳、「三幸学園の原点 あきらめない教育」に明記し配布しているほか、全教職員が一同に集う「ビジョンミーティング」、「サマーセミナー」においては、学園長及び理事長からの訓示の中で繰り返し唱え、各姉妹校で行われる年3回の全体会議にて共有化を図っているものである。また、学生に対しては、「入学式」や「スタートアッププログラム」において、校長や教職員からの言葉として示すとともに、本校独自のカリキュラム「成功の法則」の授業で使用する「夢のスケッチブック」に記載し周知を図っている。このほか、受験生、高等学校、保護者等に対しては、オープンキャンパス、高校訪問、保護者説明会などを通じて伝え、また、パンフレットに明記することにより学内外の周知に努めている。

2. 重点的に取り組むことが必要な目標や計画

・人間性を高める教育の実践

「お客様を美しくすることで感謝される、サロン・組織を活性化できる(皆をハッピーにする)人材」を育成することを、目指す人材育成方針とし、単に知識や技術を研究するに留まらず、人間性を高める教育を併せて展開することにより、真に社会に役立つ人材を輩出できると考えている

・高い現場力の醸成

現場力の醸成を目的に、各教科で重点教育目標を作成し、全教職員への共有を行うほか、教科会を実施することにより、教育の行き届きのきめ細かさを図ることにより、質の向上を実現できるよう計画している。

評価項目の達成及び取組状況

(1). 教育理念・目標

【評価項目】 (評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1)	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

①課題

- ・業界のニーズをより把握する必要がある。
- ・「自ら考え行動する」ことが求められるが、日々の指導強化が必要である。

②今後の改善方策

- ・企業訪問の強化を行い、ニーズのヒアリングや現状の現場を理解、輩出した卒業生のその後の状況を把握し学校教育等に反映していく。
- ・「教育理念・人材育成像」を内外に浸透していくことで学校の教育特徴を創りあげていく。

③特記事項

教育理念から人材育成をより体系化するべく、三幸学園の教職員としてのビジョンを「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」と設定し、ビューティー分野におけるビジョンを「人を美しくすることで人を元気にし、日本を世界を明るくする」と設定した。これらを踏まえて、人材育成方針を「お客様を美しくすることで感謝される、サロン・組織を活性化できる(皆をハッピーにする)人材を育成する」と設定し、全教職員への浸透を実施している。

より即戦力となる人材を育成し、業界のニーズをより深く理解することを目的に、サロンワークというカリキュラムを中心に学外での活動に積極的に参加している。株式会社KWプロジェクト・有限会社カラープラネットと産学連携協定を結び、現場で求められている知識・技術を反映したご意見を伺ったり、授業内容へ盛り込んでいる。

④学校関係者評価委員会コメント

- ・新卒の訪問も強化していただきたい。そうすることでうまくいっている点や強化の点が明確になると感じる。
- ・大切なことは人を介さないで話すことで伝わりやすい。目標を達成するには継続して伝える仕掛けをつくと良い。

(2). 学校運営

【評価項目】 (評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1)	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

①課題

- ・教育向上を行うため、事務的処理、会議運営などの改善が必要であり、よりシステムの構築が求められる。

②今後の改善方策

- ・継続的に健全かつ安定的な学校運営を行うとともに、各教育取り組みや活動については、積極的に公開していく。
- ・より一層の情報システム化等による業務効率化

③特記事項

- ・年3回、定期的に全教職員・講師に向けての会議を実施し、運営方針の浸透と共に、情報共有を積極的に行なっている。また、姉妹校間での情報や資料を共有し、業務効率化を図っている。
- ・コンプライアンスなどの整備や勉強会を定期的に行っている。

④学校関係者評価委員会コメント

- ・企業でも学校内でも情報管理が大切であると感じる。今後も継続してより良く、また効率化を目指してほしい。

(3). 教育活動

【評価項目】 (評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1)	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	3
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

①課題

・クラス運営や教育技術などの取り組みは各個人に任されている部分が多く、学校全体としての取り組みが個人能力で差がある。

・企業との連携はあるが授業の取り組みとしてはまだ不足である。

②今後の改善方法

・クラス運営を向上させるため担任指導者を設置

・教科会などを通し、個人差が出ないよう技術レベルの向上を図る

・実践力・専門的教育を協議検討行うため、カリキュラム委員会で修正・改善を行う。

・授業アンケート、卒業生アンケートなどの結果をもとに重点項目を絞り、改善課題を明確にする。

③ 特記事項

・三幸学園独自のアクティブラーニングを導入、能動的学習を行なっている。

・OJT 指導者の配置や教務研修などを行い人材育成に取り組んでいる。

④学校関係者評価委員会コメント

・実習生の状況を見ていると今の生徒は自発的に行動できる人が少なく、待ちの姿勢である。

・サロンワークなどの実践的に学ぶ場は現場で役立つと感じる。

(4). 学修成果

【評価項目】 (評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1)	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格取得率の向上が図られているか	3
退学率の低減が図られているか	4
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

①課題

- ・卒業生情報の強化が課題である。また、業界を意識した取り組みを行い、より高い卒業・進級率を目指す。
- ・生徒の生活面や精神面のサポートが必要である。

②今後の改善方策

- ・同窓会 Link をより多くの卒業生に閲覧してもらい、卒業生ネットワークを強化
- ・資格試験の資格取得率の更なる向上にむけ、全国の姉妹校間で検定対策の情報共有や模擬試験の共有を行う。
- ・就職ガイダンスを実施し、姉妹校先輩からの体験談・企業の方の講話を聞くことができる機会を設けている。
- ・退学率低減のために、新任担任クラスに副担任制度を設け、サポート体制を確保している。
- ・企業ガイダンスや卒業生ガイダンスなどを行い、将来像を明確するとともに就職マッチングを行なっていく。

③特記事項

- ・就職後も企業訪問を積極的に行い、卒業後の把握を行なっている。
- ・検定前に強化 WEEK の設定を行い、合格保証制度も設けている。
- ・卒業生あての求人を HP で公開
- ・担任指導者の設置

④学校関係者評価委員会コメント

・専門で学んでいるため意識が高く就職した後、発揮する傾向である。ただし、就職面接では、まだまだ表現力や言語を選択が弱く感じている。もっと表現する力を持つことでいきたい企業へ近づけると感じる。

(5). 学生支援

【評価項目】 (評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1)	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	3
卒業生への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

①課題

- ・入学前の保護者会実施などコミュニケーションを図るも連携体制の確保とまではなっていない。
- ・社会人のニーズが年々高まる中、再進学や学び直しに対応すべく受け入れ体制の整備を推進。
- ・卒業生支援制度の周知拡大が必要・

②今後の改善方策

- ・学内で相談できるよう上級生のオリターを活躍できるよう取り組む。
- ・4～5月にかけて担任から保護者へ担任挨拶の連絡を行う。
- ・在籍中に同窓会 Link についての周知・活用の強化を行う。

③特記事項

- ・スクールカウンセラーの設置
- ・地方生徒への支援
- ・卒業生 Link の活用

④学校関係者評価委員会コメント

- ・企業でも保護者様をお呼びして感謝を述べる機会を提供している。また、お子さまの頑張りを見ていた
だきたいのでサロンで行うショーにご招待している。
- ・在学中に実行委員などを積極的に行うことで、「人を動かす」ことを学び成長することができる。

(6). 教育環境

【評価項目】 (評価=適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1)	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災に対する体制は整備されているか	4

①課題

特に大きな課題はない。

②今後の改善方策

- ・インターネット環境の充実

③特記事項

- ・校舎及び設備については、保守管理企業様と円滑な連携のうえで、安心・安全な教育環境の維持向上に努めている。
- ・防災指導を一過性で終わらせるのではなく、全教室へ避難経路を掲示している。
- ・ロサンゼルス海外研修制度を設け、海外の美容知識・技術を学べる機会を提供している。

《主な教育設備》

- ・美容実習室
- ・シャンプー室
- ・ネイル実習室
- ・メイク実習室
- ・エステ実習室

④学校関係者評価委員会コメント

- ・特になし

(7). 学生の受入れ募集

【評価項目】 (評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1)	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

①課題

・特に大きな問題はないが、競合校の新設に伴い、今後は難航が予想される。

他校との差別化を図るためにもより企業との連携が必要である。

②今後の改善方策

・企業や卒業生からの情報など広く情報を収集し、理解を深めていく。また、本校を理解いただき、お互いに連携していく。

③特記事項

・学納金の決定に際しては、他校の学費水準も把握した上で決定

・地域で設置されている広報室と連携しながら、退学折衝・高校への説明会・オープンキャンパス等の機会を通じて正確に伝えられるように計画的に活動を展開している。

④学校関係者評価委員会コメント

・オープンキャンパスに卒業生を参加させることで募集、学校、就職とつながっていくのではないかと。

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

中長期事業計画は2012年に策定したが、当該計画は前倒しで終了しているため、今年度に更なる中長期計画を策定する必要がある。

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

ホームページ上の公開については抜粋版が公開となっているが、今後は事業報告などの詳細な情報の公開が必要。

② 今後の改善方法

【中期計画】

今年度到新中期計画を策定する予定である。

【財務情報の公開】

今年度よりホームページ上の法人の事業報告書を公開する予定である。なお、当該報告書には財務情報にかかる詳細データを掲載する事となっている。

③ 特記事項

なし

(9). 法令等の遵守

【評価項目】 (評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1)	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

①課題

特になし

②今後の改善方策

・更なる法令遵守の推進。また、会議や掲示物等を通じて、全ての職員の法令遵守に対する啓蒙を継続的に図る

③特記事項

・自己評価結果より公開

④学校関係者評価委員会コメント

特になし

(10). 社会貢献・地域貢献

【評価項目】 (評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1)	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	3

①課題

- ・生徒の学びの機会と地域貢献の連動をめざし、関連企業様や市町村とのボランティア活動を実施している。

②今後の改善方策

- ・更なる生徒の学びの機会と地域貢献の連動を目指す。ボランティア活動を実施している。

③特記事項

<事例紹介(28年度実績)>

・大丸パサージュ広場にて美容イベント

大丸様ご協力のもと、パサージュ広場にて一般のお客様を対象としたハンドマッサージ・メイクアップ・ネイルアートの無料サービスの実施。幅広い年齢層の方々に対して接客を行うことで、授業では身につけにくい実践力の醸成を目的の一つとして実施している。

・老人福祉施設へのボランティア

老人福祉施設でのハンドマッサージ・ネイルアート・メイクアップのボランティア活動を実施。美しくなること・リラクゼーション効果を体感することでの、前向きな気持ちになれるよう、サポートしている。

・メイクアップ講座ボランティア

福岡市西区の公民館より要請を受け、地域の母親向けのメイクアップ講座を開設。講座をきっかけに地域住民の交流の場ともなっている。

・マイマイスクール ボランティアイベント

自動車学校の地域イベントで一般の方向けにボディペイントやポイントメイク、ハンドマッサージ、ネイルアートを実施。生徒にとっては、実践力の醸成と共に、校内に一般の方を呼ぶことで学校施設を地域の方々にも利用いただいている。

・成人式ヘアメイク

実習、就職先の企業様との提携により、成人式にあわせてヘアメイクを実施。実践力を養い、現場の空気感を肌で感じられる機会となっている。

・フォー・ユーサロン

1年間の授業成果を披露するために、保護者の方や日ごろお世話になっている方を校内へお越し頂き、技術を提供させていただいている。

・地域清掃

日ごろお世話になっている地域の清掃を姉妹校と共に行なっている。

④学校関係者評価委員会コメント

企業とコラボレーションしたボランティアもプロの技術を身近で見る体験もできるのではないかな。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

- ・採用者を見れば学校が分かる。福岡ビューティーアート卒業生は素直でとても良い。
- ・「人の為に」を考えられる人が育ってほしいと考えているとともにメンタル面も鍛えてほしい。

以上を受けて、職業意識の醸成を目的に、日々の授業・校外実習・行事の運営を目標としていく。

以上